

「木になるフェスティバル」を開催しました

企業支援部 普及連携グループ 品川 学

■はじめに

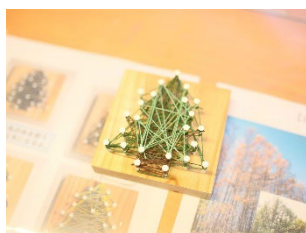
林産試験場では、例年、木材や科学技術、研究への興味・理解を深めていただくため、施設を公開し、木を使った様々な体験ができる「木になるフェスティバル」を開催しており、これまで多くの方々に参加いただきました。

第34回となる今年度は、子ども限定で午前・午後各50名の事前申込制とし、10月11日（土）に、北海道立北の森づくり専門学院、（一社）北海道林産技術普及協会との共催、上川農業試験場、林業試験場との協力により、8つのブースで催事を行いました。

概要並びに参加した子どもたちの様子は次のとおりです。

①ストリングアートでカラフルな木を作ろう

木の板に釘を打ち付けて、そこに色の着いた糸を結んで、カラフルな木の模様をつくっていきましょう。



②きのこ収穫体験

きのこについて学んだ後、シイタケ、ユキノシタ、タモギタケのいずれかを収穫体験しよう。



③木のしおり作り

シェービングマシンで作成した木の薄板に絵を描いたり、スタンプを押してしおりをつくろう。



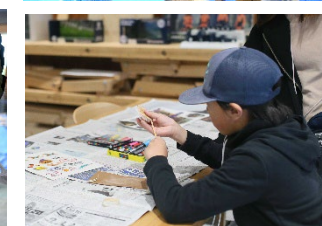
④親子で木琴をつくろう

木琴キットの製作に挑戦！ダボや部品をはめ込み、完成させよう。



⑤「木」の校舎の北森カレッジで、「木」のコースターをつくろう！（北海道立北の森づくり専門学院）

細い木の棒をノコギリで輪切りにして、それに絵を書き、オリジナルコースターをつくろう。



⑥森を知り、木を知る（（一社）北海道林産技術普及協会）

木と暮らしの情報館で木と森のクイズに挑戦して、景品をもらおう。



⑧森の中を探索してみよう！（林業試験場）

森の香りと仮想空間（VR）で森林体験。苗木を見ながら、種子→苗木→森への変化も体験しよう。



⑦「たねアート」をつくってみよう（上川農業試験場）

小さな木の板にさまざまな色、大きさの「たね」を貼り付け、点描風アートをつくろう。



■おわりに

嬉しいことに、参加募集受付開始とともに早々に参加枠が埋まりました。開催当日は晴れていたものの肌寒い中での開催となりましたが、事故もなく無事開催することができました。また、子どもたちはとても元気に各催事に参加し、楽しんでいる様子が伺えました。このイベントを通じて森林や林産物、ものづくりに興味を持ってもらえたらと思います。

催事参加後に、参加した子どもたちや保護者の方々には、アンケートに答えていただきました。今後集計・分析等を行い、来年に向けて役立てていきたいと思えます。お越し頂いた皆様、誠にありがとうございました。